

広島県言語聴覚士会

がんばれ!!カープ

ひろしま百歳体操

(一社)広島県言語聴覚士会 副会長 杉村 暁生

広島と言えば何を思い浮かべますか？ 宮島、原爆ドーム、お好み焼き……。ホットなのは、広島東洋カープです。昨年は25年ぶりにリーグ優勝を果たし、カープ女子やカープ芸人といった人々がマスコミなどを大いににぎわせました。今年も、すでに予約席はほぼ完売の様です。

広島市民(県民)にとって、とりわけ高齢者にとっては、カープの存在は特別です。たる募金のお話をご存じでしょうか？ 1951年、設立2年目にして財政難でつぶれかけた球団を市民が募金で立て直しました。広島市民にとって、特にその時代を生きた人たちにとっては、まさに市民の球団なのです。

地域に訴えるカープの力

広島市の地域介護予防拠点整備促進事業の計画では、平成28年度中に121カ所、平成29年度には、82カ所を新規に立ち上げ、その後暫時増やしていき、最終的には2,000カ所以上の拠点整備が計画されています。いかに、拠点整備事業に、地域の人たちの参加を促せるかが課題の一つです。

広島と言えばカープ。県内の作業療法士が声を上げ、広島市へ提案をし、それに広島市が応えてくれ、「がんばれ!!カープ ひろしま百歳体操」が制作の運びとなりました。

カープOB 渡辺弘基氏とは

紆余曲折を経て、高知市のいきいき百歳体操を軸に、ナレーションなどでカープ色を付けたものを作成することになりました。出演は、広島カープのOB、渡辺弘基氏。中継



「がんばれ!!カープ ひろしま百歳体操」撮影時の様子



出演者の渡辺弘基氏(中央)

ぎ投手として、広島カープの初優勝に大きく貢献し、当時の古葉監督に、陰のMVPと言わしめた選手。今は、広島ローカル番組、「あっぱれ熟年ファイターズ」の名MCで、番組内では、柔らかい雰囲気での司会進行、併せて、毎回飛び出るシュールなダジャレ(?)で広島県では知らない人はいないだろうという有名人です。

かみかみ百歳体操 広島版

われわれは、かみかみ百歳体操の指導監修を行いました。渡辺氏は、9時間余りの撮影をほぼ休憩なしで終了され、去り際には、「広島の高齢者のために頑張ってください。あっ私も高齢者かっ」と場を和ませ、さっそうと自家用車で窓を全開に大きく手を振りながら帰っていかれました。

拠点整備事業にとって、大きな武器を手に入れました。今後はそれを上手に使い、地域を元気にしていく責任が生まれました。



カープロゴのオモリも製作されました(モデルは広島県士会長)